

乗合タクシー実証運行 導入事業に関して

野島 進吾 議員



相次ぐ交通事故により、高齢者の生活の足は深刻な状況である。市内2地区で予定されている乗合タクシー実証運行導入事業に関する詳細な内容はどうなっているのか。また、運転免許証の自主返納を促進するために、長崎県営バスが行っている免許返納者バス制度や運転経歴証明書の交付等の広報に係る支援をしっかりと行ってほしいがどうか。

A 乗合タクシーについては、松原・福重地区と荒平・水計地区をモデル地区として、早ければ来年7月から開始したい。松原・福重地区はジャンボタクシーを使った定時定路線の運行とし、荒平・水計地区は小型タクシーを使った予約型デマンド運行となる。費用については、それぞれの地区で異なるが、負担していただく。また、免許返納者バス制度については、チラシを広報おむら6月号と一緒に班回覧として配布するなど協力した。

地球温暖化対策について

水上 享 議員



記録的な猛暑日が連続した今夏、県内における観測史上最高気温となる38.5度を記録したのが大村市である。世界的にも温暖化の影響で自然災害が増えている。CO2削減の啓発のため、「CO2削減推進のまち」の広告塔を市内5カ所に設置していることを認識しているのか。市長は温暖化対策に向けたさまざまな取り組みを市民や市職員の先頭に立ち推進すべきである。

人と動物に関する 基本計画の策定を提案する

神近 寛 議員



人と動物の関係性を市の所管で見ると、狂犬病予防やノラ猫問題等は市民環境部と都市整備部、動物介在の医療・介護・教育は福祉保健部と教育委員会、有害

鳥獣は農林水産部、ペット同伴による観光は商工観光部など、多岐にわたる。本市が動物行政を推進するに当たり、事業の検証も念頭に入れ、10年を目標とした「人と動物に関する基本計画」を策定されることを期待する。

A 平成26年3月に県が策定した長崎県動物愛護管理推進計画の内容にのっとり、譲渡会やセミナー等の開催を実施している。大きな計画を策定するのは困難だと考えるが、そのようなことも視野に入れ、今後検討したい。また、事業効果の検証については、早急に取り組む必要があると考えしており、来年度から実施したい。

「65歳超雇用推進助成金」 の活用と推進について

山北 正久 議員



働き方改革の中で、高齢者の就労促進が重要な柱となっている。この度、厚生労働省は「65歳超雇用推進助成金」を創設し平成28年10月からスタートしている



福祉・医療・保健

が、本市の雇用実態と今後の取り組みをどのように考えているのかを尋ねる。

A 高齢化率の進展や就業を生きがいとする意識の高まりなどにより、高齢者の就業率はさらに高まっていくと考えている。そのため、高齢者がこれまで培ってきた知識や経験、技能を生かした就業の場を確保するため、高齢者を積極的に活用する企業を支援する国の制度などについて、広報などを通じ、周知に努めたい。

病院事業について

水上 享 議員



市立大村市民病院の新病院建設が順調に進み、平成29年4月には開院となる。今議会では入院ベッド数や診療科目の増などが提案されているが、医療機器についても更新するのか。また、県央地域における中核病院としての機能を発揮し、市内外からも健診・入院外来患者を受け入れ、病院事業としての運営を強化すべきだ。

A 医療機器については、使用可能なものはそのまま使い、耐

